

# 情熱の赤！ 中高生が 広場にサルビアを植える美化活動

中里高校が令和2  
年度全校奉仕活動

昨年に引き続き、中里高校(校長・白濱卯)が全校奉仕活動を5月25日(月)に行い、米マイロードに面する「うるおい広場」で約5,000本のサルビアを植えました。

中里高校では例年、全校奉仕活動を行っており、過去には町内各施設の清掃なども手掛けてきました。今年も昨年に引き続き、福浦コスモス会(代表・竹内恭一)の皆さんと約5,000本のサルビアの苗を植え、生徒たちは福浦コスモス会の皆さんと協力しながらスムーズに作業を進めていました。

作業を終えて生徒会長の野上流聖さんは感謝の気持ちを述べて「近くを通るときは花を楽しんでほしい」と話しました。福浦コスモス会代表の竹内さんは「たくさんの人の手で植えたサルビア。花が咲いて人目につくようになるのが楽しみ」と話しました。

生徒たちが植えたサルビアは、7月頃に満開となり、秋まで見ごろが続く見込みです。



## 泥が跳ねても頑張ったよ 武田小5年生が 田植え体験



武田小学校の5年生が5月29日(金)、長利謙二さんの田んぼで田植え体験をしました。

はじめに、児童たちが元気いっぱいにあいさつし、長利さんからイネの苗ができる過程の説明を聞きました。

米作りへの理解を深めたあとは、いよいよ田植え体験です。裸足になって田んぼへ入ると、独特の泥の感触に児童たちは興奮気味で、思わず声をあげていました。

児童たちは長利さんから教わったとおりに、およそ100㎡の田んぼに1時間ほどで植えました。体験をとおして佐藤秀磨君は「初めて田んぼに入った。苗がまっすぐ並ぶように気を付けて、丁寧に植えたので収穫が楽しみ」と収穫が待ち切れない様子でした。

今回、植えた稲の種類はもち米で、10月上旬に収穫する見通しです。

